

丸亀市議会議員

もりや英明

ニュース第18号

もりや英明 令和7年9月 議会報告
初心を忘れず働きます!!

丸亀市議会9月定例会 一般質問 および 答弁

1. 公立保育施設への紙おむつ サブスクの導入について

質問

共働き世帯の増加や核家族化が進む中、子育て世帯の「時間の貧困」が深刻な社会課題となっている。子育ての負担をいかに減らすか、また、待機児童削減のためには保育士確保は重要であり、保育士の負担軽減のための処遇改善が求められている。

この様な状況のなか、全国では保育施設向けの「紙おむつサブスク」の導入が急速に進んでいる。

現在、県内においても既に三豊市、宇多津町、まんのう町において導入している。保護者および保育士双方にとって大きなメリットをもたらし、保育所運営の革新的な施策のひとつと考えられているが、サブスク制度の課題および懸念点ならびに制度導入の可否について市の考えを伺いたい。



答弁(教育部長)

サブスク制度を導入した場合、保護者にとっては、おむつを保育所へ持参したり、名前を書き込む手間が無くなり、また、保育所にとっては個別の管理が不要となり、保護者への補充依頼も無くなる。

一方で、費用面のほか、特定メーカーや商品に限定される場合、子どもの肌質に合わない可能性があることから肌トラブル等への懸念があるほか、家庭保育における紙おむつの選定に影響を及ぼすことが想定される。

保護者から特定業者を選定したうえで導入の希望が寄せられた場合には、意見交換の機会を設けながら、制度導入について検討していきたい。

令和7年度 9月定例会議案

令和7年度定例9月議会が9月2日から10月3日までの32日間にわたり開催され、議案22号、認定1号、諮問1号について審議された結果、全て原案通り可決されました。

【主な内容】

議案第85号 令和7年度丸亀市一般会計補正予算について

歳入歳出とともに**7億606万8,000円**を追加し、予算総額は**792億952万9,000円**となりました。

- 【主な増額内容】① 低額減税補足給付金に関する通信運搬費 250万円
- ② 福祉避難所における受入体制充実のための補助金 840万円
- ③ 特別養護老人ホームにおける誘導灯改修に対する補助金 1,103万円
- ④ 単独県費補助金土地改良事業補助金 590万円
- ⑤ 子ども家庭相談システムの改修費 422万円
- ⑥ 新市民会館建設事業費工事費 2億6,829万円

議案第88号 令和7年度丸亀市介護保険特別会計補正予算について

歳入歳出とともに**2億2,222万5,000円**を追加し、予算総額は**99億1,022万5,000円**となりました。

議案第95号 丸亀市市営住宅設置及び管理条例の一部改正について

市営住宅に指定管理者制度を導入するため、所要の改正を行うものです。

議案第96号 丸亀市認定こども園条例等の一部改正について

「丸亀市こども未来計画」に基づき、令和8年度から城東幼稚園及び青ノ山保育所を再編し、名称を城東こども園とする幼保連携型認定こども園に移行することに伴い、所要の改正を行うものです。

議案第100号 物品の購入について

高規格救急自動車1台を購入するものです。

諮問第1号 令和6年度丸亀市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算について

令和6年度決算質疑 主な内容

- ① 公共施設等包括管理業務委託における、マネジメントフィーの算出方法及びその妥当性は?
→ プロポーザル方式により2業者から見積徴取し、修繕や保守点検などについて妥当な金額を算出しており、全国先進事例等と比較しても高額ではなく妥当な水準である。
- ② 若年層への選挙啓発として実施した出前講座や模擬投票の効果と今後の課題は?
→ SNSの活用方法について学び、効果的な情報発信に努める。
- ③ ふるさと納税の寄付増額に向けた取組みと返礼品確保に向けた今後の対策は?
→ 検索キーワードの追加や掲載方法の見直しを行う。返礼品の確保については、中間管理業者や返礼品事業者と連携しながら進める。
- ④ 増加している遊休農地対策の内容は?
→ 市内全域を対象とした農地利用意識調査のほか、管理不全農地の解消に向けて、補助金の活用や他の就農者への貸借の提案等を実施する。
- ⑤ 高齢者移動手段確保事業について、運転ボランティアの確保に関する取組みは?
→ 確保に向け先進地との意見交換等を行いながら、引き続き対策を検討していく。
- ⑥ 救急車の出動要請に対して車両は充実しているのか?
→ 国の配置基準は満たしているが、近隣市町との連携・協力をもとに対応していく。
- ⑦ 不登校児童・生徒数といじめの認知数の傾向は?また、スクールソーシャルワーカーの配置は?
→ 不登校やいじめの認知件数は増加しているが、早期な対応の結果として件数が増加している。ワーカーは中学校区ごとに1名、合計5名を配置している。

発行人 守家英明

〒763-0092 丸亀市川西町南858番地3

TEL 0877-28-5747 090-8692-0540

ご用の方は下記までご連絡下さい。



2. 子育て世帯に対するおむつの無償化について

質問

本市では今年3月に「第3期丸亀市こども未来計画」が作成され、今まで以上に、安心してこどもを産み、喜びや楽しみを感じながら子育てができるまちづくりを目指して様々な事業に取組んでいる。

本市で生まれた子ども達のより一層の健やかな成長の応援を目的として、さらに事業の拡大を図り、0歳児からのおむつの無償化を提案いたしたい。

答弁(健康福祉部長)

現在、「ハッピーバースデー事業」を実施しており、1歳の誕生日を迎える家庭におむつを含む子育て支援品の入った「ハッピーバースデーセット」を配布している。

配布については、子育て支援経験者が手渡しており、経済的支援のほか育児相談も行っている。

今後は、おむつ購入費の無償化や助成について調査し、総合的に検討していきたい。

もりぶら
ウォッキング



3. 災害避難所のトイレ対策について

質問

災害が発生するたびに、避難所の準備体制や運営体制が問題視されており、避難生活が長期化する大災害が多発している今、特に「トイレの備蓄・調達強化」が重要視されている。

しかし、市区町村においてトイレ数については、その49%が「政府の基準を満たしていない」とのことである。

本市において、トイレ数も含めた各必要項目の状況を伺いたい。

答弁(市長公室長)

今年度、国や県の補助事業のひとつとして、避難所のトイレ環境の改善につながる資機材の整備を進めており、携帯トイレの着脱が自動に行なえる自動ラップ式トイレ75台を主要避難所に配置し、要配慮者がトイレを使用しやすい環境を整えていくこととしている。また、マンホールトイレの設置も計画している。

避難所設営基準については、トイレ数を含め全て国の基準を満たしている。

4. 住宅セーフティネット施策について

質問

今後、高齢者や低額所得者などの「住宅確保要配慮者」にとって居住ニーズが高まることが見込まれている。一方、賃貸者にとって、入居者の孤独死や死亡時の残置物処理、家賃滞納などに強い懸念が抱かれている。

昨年、国においては、「住宅セーフティネット法」の改正が行われた。

今後においては、住宅施策と福祉施策が一体となった居住支援体制の強化が望まれるが、本市における今後の方針について、伺いたい。

答弁(都市整備部長)

努力義務化されている「住宅確保要配慮者居住支援協議会の設置」については、県が設置している協議会に参画している。

今後においては、住宅部門と福祉部門がこれまで以上に連携を密にして、要配慮者だけでなく全市民に寄り添った対応を心掛けたい。

また、宅建協会の協力を得ながら情報提供に努めるほか、誰もが安心して民間賃貸住宅に居住できる環境づくりに努めていきたい。

紙おむつサブスクとは？

サブスクとは「サブスクリプション」の略であり、定期的に料金を支払うことによりサービスや商品を利用できる仕組みを指します。

保育所等における紙おむつサブスクは、保護者がおむつ事業者と個々に契約を結び、保育所へおむつを届けてもらい着用作業等を保育士さんにお願いするもので、枚数制限は無く、サイズも複数サイズ用意されている様です。

ただ、保護者が個々に様々なメーカーを利用するとなると、保育所において混乱を招いてしまうことから、導入している市町では行政側において、プレゼン作業を実施した上でひとつの事業者に選定している様です。

瀬戸内国際芸術祭秋会期がスタート



今年春から始まった瀬戸芸2025の最後を飾る秋会期が10月3日よりスタートし、本島においてオープニングセレモニーが実施されました。

各会場では、素晴らしい作品が展示されており、おいしいグルメも多数、出店されていました。

5. 公共施設におけるDX化の見通し及び対象範囲について

質問

今年4月「丸亀市DX推進計画」が策定され、行政サービスのDX化は進んでいるが、地域でのDX化も急がれる。今後の見通しや対象範囲を伺いたい。

答弁(市長)

市民体育館の利用予約や学校体育施設開放事業の利用開放について、段階的に運用を開始していくとともに、コミュニティセンターへの導入も進めていきたい。